



<p>目次</p> <p>日本国際薬膳師会の活動をドラッカーで見つめなおしてみる…………… 1</p> <p>令和 4 年度第 18 回通常総会報告…………… 2</p> <p>第 18 回通常総会特別講演「食卓の健康学～食も人生計画～」…………… 3</p>	<p>熱中症「中暑」の中医薬治療 2…………… 4</p> <p>会員の活動紹介・ティブレイク…………… 5</p> <p>一人で歩く中国医書の世界 12…………… 6</p> <p>会員の声…………… 7</p> <p>各部報告・編集後記…………… 8</p>
---	---



**日本国際薬膳師会の活動を
ドラッカーで見つめなおしてみる**
日本国際薬膳師会副会長 稲垣雄史

当会も設立 18 年を経て、今年は「日々の健康を薬膳で！」をスローガンとして、会員の皆さまの健康維持・向上を願って第一歩を踏み出しております。

日本国際薬膳師会は 450 名余の会員からなる、任意団体ですが、当会の会則を踏まえた活動状況を見ると、日頃の各部の皆さまのご活躍が効を奏し、非営利組織として考えた場合、ミッションも揃い、経営体制も十分整って見えます。

しかし、しっかり見ると、もつと高いレベルの活動を期待できるのではないかと思われれます。今回はドラッカーの視点にて基本からマーケティングまで一通り考えてみます。

ドラッカー氏⁽¹⁾の著書⁽²⁾によれば、「非営利組織とは一人ひとりの人と社会を変える存在」として捉えられ、ミッションは「正しい行動をもたらすもの」であるとしています。

会則をみると第 2 章 第 3 条、目的「本会は国際薬膳師(士)・国際薬膳調理師などの薬膳に関する国際資格を有する者の資質の向上、中医營養薬膳学分野の推進を図ることを目的とする」とあります。

これが会のミッションです。重要な点は、「強みによる成果」で、うまくいっているものをさらにうまく行う必要があると考える点です。

ミッションの三本柱と言われるものが不可欠です。第一に「ニーズは何か」第二に「われわれの強みに合っているか」第三は「心底この価値を信じているか」。

三本柱は、本会の目的とぴたりですね。いかなる組織にも危機は来るといいます。

その時、イノベーションが必要です。

正にリーダーに頼る時であり、危機に備えるため先手を打って用意する必要があります。信頼にあふ

れ、士気高く、態勢の整った組織が必要です。しかし、うまくいかなくなるのは物事が成功しているときです。イノ

ベーションを成功させるには、窓の外が見えるようにする必要があり

ます。リーダーはベストを尽くせばよいし、人を組織に引き付けるものは高い基準です。リーダーは、全

員がミッションを目にできるようにすることが大切です。長期目標からスタートして、同時に成果を中心に据えま

す。リーダーは組織の模範。皆がビジョンを高め、能力を高め、組織の成果を高める必要があります。

マーケティングでは「マーケティングリサーチ」「マーケティング区分」「ターゲットティング」「自らの位置づけ」「仕事の設計」などが重要です。その目的は、販売を不要にすることであり「価値を加えて、ニーズを満足させること」です。「自らの強みを誰にマーケティングするか」を徹底して分析する必要があります。マーケティングの成果を測る必要もあり、どれだけの人が自分たちを知り、好きになっ

たかを調べるやり方があります。

概ね、ここまでを参考に会の活動を見直すと、効果を感じることができそうです。

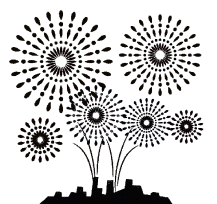
(1) ドラッカー氏「経営学者・マネージメントの父と呼ばれる。」(2) 『非営利組織の経営』P.102

ツーカー著上田敦生訳 ダイアモンド社 (2011.9.12)

日本国際薬膳師会設立記念講演会 11月23日(水・祝)

「中医学によるライフステージ別処方」漢方医の視点から

ら「小川恵子氏(広島大学病院 漢方診療センター 特任教授)



各部報告・お知らせ

▲総務部

○5月29日(日)18回総会が開催されました。今年は会場参加とオンライン参加の両方での開催でしたが、無事終わりました。皆さまのご協力に、感謝します。しかし初めてのことで、オンライン参加の皆さまには音声小さく聞き取りにくい不手際があり、ご迷惑をおかけしましたことをお詫びします。

○本日、新しい会員証を全会員(455名)に配布予定です。

▲学術部

○6月17日今年度学術部ステップアップ講座連続3回の1回目を開催しました。テーマ「肺疾患」には会場受講、録画受講合わせて50余名の参加がありました。肺の基礎から様々な疾患、対応する方剤、食薬について詳しく学びました。

○2回目は9月9日「骨粗しょう症」です。単発受講も可能です。詳しくはHP、チラシをご覧ください。

▲広報部

○会報誌「くこ」59号(8月1日)発行。60号(12月1日)・61号(2023年4月1日)発行予定。

▲事業部

○日本国際薬膳師会設立記念講演会

演題：「中医学によるライフステージ別処方 ～漢方医の視点から～」

講師：小川 恵子先生（広島大学病院総合内科・総合診療科 漢方診療センター特任教授）

日時：令和4年11月23日（水・祝）14：00～ 開場 13：30

場所会場：エッサム神田ホール1号館301 会費：2,000円

参加方法：会場またはオンライン（詳細はチラシまたはHP参照）

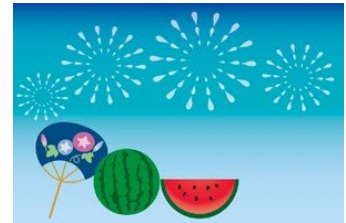
○日本国際薬膳師会設立15周年記念誌、レシピ集等の販売。

申込用紙に必要事項を記入し下記へFAXで申込、入金確認後発送。

- ① 設立15周年記念誌 (1,500円)、レシピ集 (2,000円)
- ② 「体質診断・食材早見表」 (300円)
- ③ 「薬膳の基礎早見表」 (800円)
- ④ 「8つの体質と食薬早見表」 (600円)

◆問合せ及び申込先： FAX 045-622-0584 送信前によく番号をご確認ください。

◆入金先：ゆうちょ銀行以外から (店番018) 普通9888805 日本国際薬膳師会
ゆうちょ銀行から 10110-988880 51 日本国際薬膳師会



▲交流部

○今年度の事業は「東京都薬用植物園」、「施設」の見学会、11月23日(水・祝)設立記念講演会終了後の食事会、中国とその他の国外の事業を、総会にて承認を受け予定しています。コロナ禍で、交流部の活動を中止して3年目に入りました。その生活に慣れてきてはいますが、身の回りで感染したり、濃厚接触者になったりと、身近に聞くことも増えてきました。どこで活動を再開するか、悩ましいところです。心置きなくおいしい食事をしたり、気軽に見学会ができる日が早く来ることを願います。

▲IT部

- 「食薬同源」のサイトでは「私の街のおすすめ食材」「薬膳インタビュー」「暮らしの中の身近な食薬」を掲載しています。インタビューのリレーは、現在33名の会員の皆さまと繋がっています！
- 「ワンポイント食養生」では中医学の四字成語をわかりやすく解説しています。
- 「今月の薬膳」は「五臓の機能を高めて感染症に負けない身体」を掲載中です。
- ZOOM勉強会を予定しています。

▲認定部

○「今月の薬膳」のテーマは昨年度より継続の「五臓の機能を高めて感染症に負けない身体」です。新型コロナ感染者は激増、過去最大（全国感染者数221,442人・7月末時点）で、未だ収束には至っていません。「扶正祛邪」を目指したレシピをお寄せください。 ⇒ nintei-bu@yakuzenshi-kai.jp

編集後記 梅雨がひと月もなく猛暑へ突入！長い夏に備える食生活は「薬膳」の力が大いに役立つことが証明されるようです。コロナ禍は依然として収まらず、高齢者優先で4回目のワクチン接種です。コロナ禍前の生活に少しずつ戻っているようでその実は、新しい生活様式が定着しつつあるようです。会の研修会もオンライン研修が定着してきました。N.S